

小野 S11女子2種目制覇

ジャパンパラ競泳 400自由形は大会新



【女子100m背泳ぎ・決勝】
1分26秒64でS11クラスの優勝を決めた小野智華子（山川静子撮影）

日本代表として賞禄の

最も得意とし、リオデメダルを狙う100m背泳ぎ。最終日に行われた決勝では自己ベストの1分24秒26秒64でフィニッシュした。世界の高みをイメージしているだけに、国内で金メダルを手にしても表情はさえなかつた。

五輪に向け「しつかり修正」

最高峰で8位だった同種目のほか、自由形の50m、100m、400mの計4種目に登場する。大会初日91秒を10秒以上更新して弾みをつけた。100m背泳ぎに向けて「(1分)24秒台を

得意の背泳ぎ不調

一度に乗れず「前半、もつと積極的にいきたかった。バテた感じもなかつたがダメでした」と振り返った。パラリンピックの競技初戦は9月9日。いきなり大一番の100m背泳ぎを迎える。本番に向けて追い込んでいる時期だけに「ハンド練習してフォームが崩れてる。真っすぐ進まず、右に傾いてる」と分析。「日本代表の直前合宿などでしつかり課題を修正したい」と残る期間で最善を尽くす。

【横浜】競泳の2016全盲の小野智華子（あいお）が、全盲の横山航也（道教大函館校4年、帯柏葉高出）は視力0など最も重い視覚障害に出場、女子100m背泳ぎで1分26秒64をマークして優勝、同400m自由形0分50秒5分50秒で制し、リオパラリンピックの日本代表として賞禄の

【男子】◇S11▽自由形50m=⑤横山航也（道教大函館校）34秒39▽同100m=②横山航也（同）1分14秒36

（管内関係分）

【女子】◇S11▽自由形50m=①小野智華子（同）1分26秒64



優勝を決めメダルを手にした小野智華子（山川静子撮影）